

# 資料 1 ヘルスケアスタートアップの概況について

- スタートアップ施策については、政府全体として令和4年に「スタートアップ育成5カ年計画」を策定。同年をスタートアップ創出元年として各種の取組を推進

### 「スタートアップ育成5カ年計画」(令和4年11月28日)(抄)

スタートアップは、社会的課題を成長のエンジンに転換して、持続可能な経済社会を実現する、まさに「新しい資本主義」の考え方を体現するもの(略)。  
しかし、2022年現在、多様な挑戦者は生まれてきているものの、開業率やユニコーン(時価総額1,000億円超の未上場企業)の数は、米国や欧州に比べ、低い水準で推移している。  
他方で、旧来技術を用いる既存の大企業でも、スタートアップをM&Aしたり、コラボレーションをしたりして新技術を導入するオープンイノベーションを行った場合、持続的に成長可能となることが分かってきた。  
以上を背景として、本年をスタートアップ創出元年とし、戦後の創業期に次ぐ、第二の創業ブームを実現する。そのために、スタートアップの起業加速と、既存大企業によるオープンイノベーションの推進を通じて、日本にスタートアップを生み育てるエコシステムを創出する。

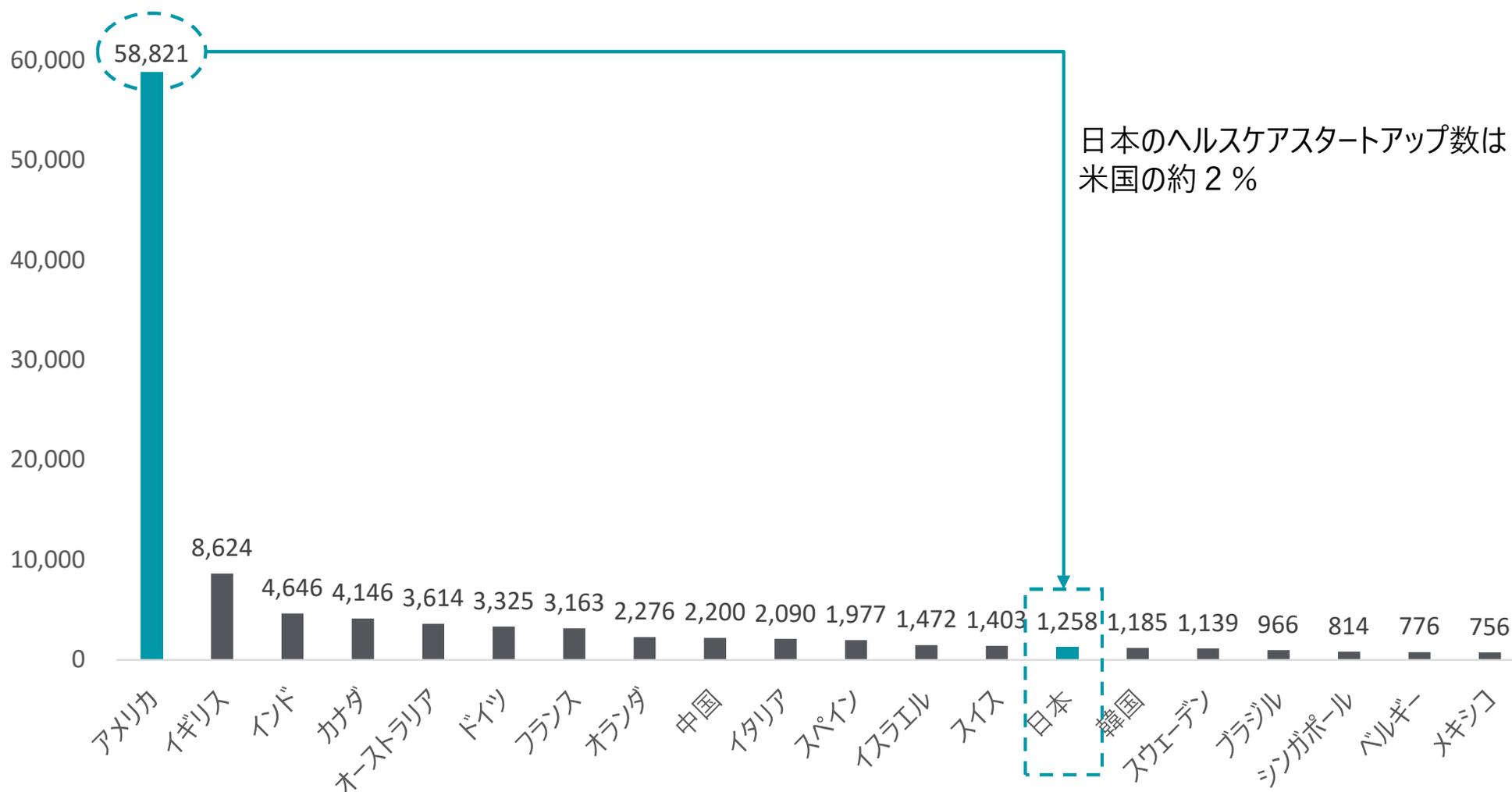
- 我が国のヘルスケア分野には、以下の2点などを要因として、大きなポテンシャルが存在。  
【I】 超高齢社会を迎え、先端的なヘルスケアニーズが集積する世界でも特異な市場であること  
【II】 政府が進める医療DXによるデジタル化により、医療・介護の高品質なデータが集積されること
- このようなポテンシャルにより、日本の社会課題の解決に止まらず、世界の中でも競争優位を得られるチャンスがある。
- ヘルスケアスタートアップを育成するにあたっては、資金投与やアカデミアにおける研究開発力のみならず、ルールメイキングが重要な側面を持つことが多く、政策的なアプローチは他の分野と異なる特徴を有している。



ヘルスケア分野の特徴に特化した形で、この分野におけるスタートアップに対する振興策を改めて政策的に検討する必要

# 日本はヘルスケアスタートアップ数の国際比較で低位（世界14位）

## 世界におけるヘルスケアスタートアップ企業数 | 上位20か国における企業数



出典：海外は「TechHarbor」、日本はスタートアップ情報プラットフォーム「INITIAL」を基にデロイトトーマツベンチャーサポート社作成（2023年アクセス）

# ベンチャーがユニコーン化\*していくことの重要性

\*企業価値が10億ドルを超える未上場企業

## スタートアップへの期待 大きなスケールアップ

### ① 経済的インパクト

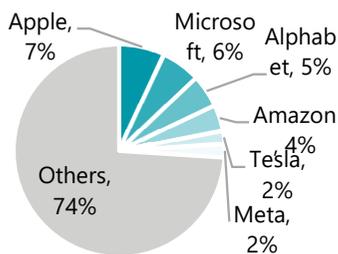
- スタートアップは将来の雇用、所得、財政を支える新たな担い手

### 米国の新規雇用創出

50%

高成長スタートアップが米国の新規雇用創出に占める割合\*1

### 米国の株式市場



米国の株式市場は“Tech Giants”が牽引\*2

### ② 社会的インパクト

- 何らかの課題解決に繋がる画期的なプロダクトを有したとしても、それが小規模であれば局所的な影響に留まってしまう

## 大きなスケールアップを 実現するためのグローバル化

### 市場の観点

- 大きなスケールアップを実現するためには“巨大な市場”または“急成長している”が必要

- 日本は世界第3位の市場規模だが、人口減や競争力の観点から、将来的な魅力は低下傾向。新興国などのグローバル市場へ期待

### 資金調達の観点

- 国内のスタートアップ投資額は米国と比較し約3%と、リスクマネー供給に課題がある

- 諸外国のユニコーンは、その多くが海外VCから資金調達をしており、その成長を支えていた（例：2022年時点で韓国12社中11社）

大きなスケールアップ&グローバル化を最も体現しているのが  
**グローバルユニコーン**

その創出を目指すことは  
経済・社会的な意義が多いと言える

\*1：National Venture Capital Association “Yearbook 2021”

\*2：S&P500時価総額（2022年1月31日時点）

出典：デロイトトーマツベンチャーサポート社作成

特に、ヘルスケアスタートアップの特徴として、画期的な製品を1つ生成することでグローバルなマーケットを取りに行くことができることが挙げられ、スケールアップにあたりグローバルな視点を有していることが重要となる。

## 日本発のヘルスケア・ユニコーン企業はまだない

国	社数	企業価値 (\$B)
United States	94	216.44
China	14	32.00
France	3	10.25
India	2	2.90
Israel	2	2.33
United Kingdom	2	4.20
Canada	1	4.00
Finland	1	2.55
Germany	1	3.52
Ireland	1	1.00
Sweden	1	2.00
Switzerland	1	1.00
Japan	0	0
<b>総計</b>	<b>123</b>	<b>282.19</b>

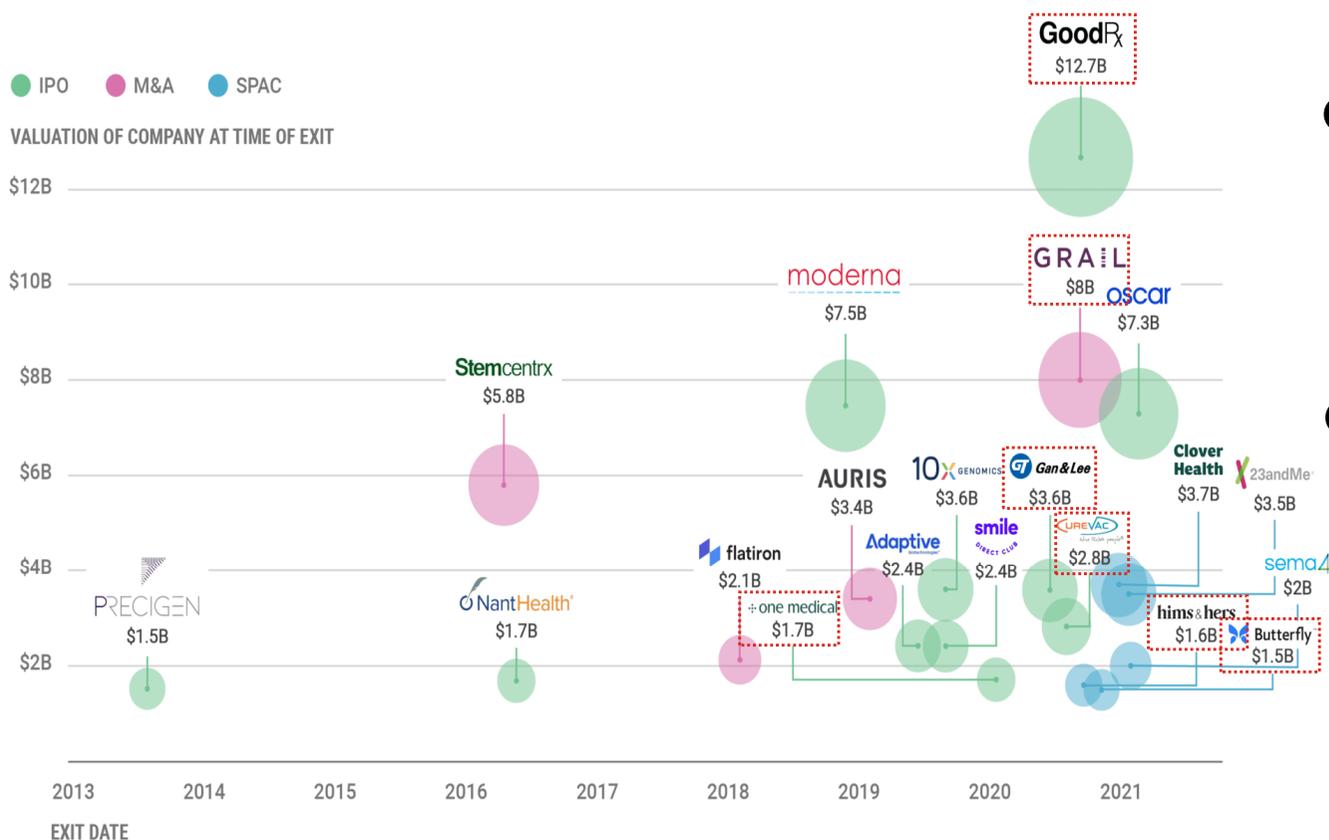
出典：CB insights 「The Complete List Of Unicorn Companies」 を基にデロイトトーマツベンチャーサポート社作成

# ユニコーンによるエグジットの増加

## HEALTHCARE UNICORN EXIT ACTIVITY

Billion-dollar healthcare companies with exits valued at \$1B+ (as of 3/3/21)

ヘルスケアのユニコーンのエグジット活動  
 (企業価値10億ドル超でエグジットを  
 果たしたヘルスケアのユニコーン、  
 21年3月3日時点)



Note: Sema4 and 23andMe have entered into definitive agreements with special purpose acquisition companies (SPACs) – finalized mergers are expected to be completed later in 2021.

- 2020年にはヘルスケア業界のユニコーンは7社がエグジットを果たし、過去最高
- 日本は潮流に乗れていない

出典：CB insightsレポートを基にデロイトトーマツベンチャーサポート社作成

# ヘルスケアテックの今後の活躍の可能性

- 国内ベンチャーの育成支援プログラム「J-Startup」選定企業のうち、3割弱がヘルスケア分野。

## 国内のヘルスケアスタートアップ事例

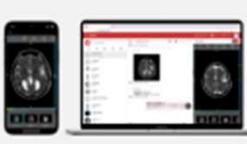
**aba 株式会社aba**

- ・排泄ケアシステム「Helppad」は、においセンサーで尿と便を検知し、ベッドに敷くだけの「からだに非装着」で使用が可能。
- ・検知したデータから「排泄パターン表」を自動生成し、排泄業務の負担軽減や業務改善を支援。



**Allm SHAPING HEALTHCARE 株式会社アルム**

- ・医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を開発。
- ・高セキュリティ環境で医用画像を閲覧、チャットに共有することで、夜間休日などに院外にいる医師へのコンサルテーションツールとして活用できる。また、救急患者の転院において病院間での連携・情報共有にも利用可能。



**ユビー Ubie株式会社**

- ・AIを用いた受診相談サービス「ユビーAI受診相談」を開発。
- ・スマートフォンやPCで、気になる症状について、AIからの質問に回答すると、関連する病名や適切な受診先を調べられる。
- ・連携した医療機関では、利用者の回答内容を受診前に送信することも可能。



## J-Startup 3次選定では、新たに13社が選定！

### J-Startup ヘルスケア分野のベンチャー企業

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| iHeart Japan              | シンクサイト          |
| aba                       | Alivas          |
| アルム                       | ムスカ             |
| VLPセラピューティクス・ジャパン         | Lily MedTech    |
| AIメディカルサービス               | ひむかAM ファーマ      |
| CoreTissue BioEngineering | サイフューズ          |
| 糖鎖工学研究所                   | ブレイゾン・セラピューティクス |
| PuREC                     | メトセラ            |
| メロディ・インターナショナル            | ファーマステーション      |
| Ubie                      | アイリス            |
| カケハシ                      | メドメイン           |
| MICIN                     | アジラ 他           |
| ユニファ                      |                 |
| メタジエン                     |                 |
| サスメド                      |                 |
| サイマックス                    |                 |

出典：「ヘルスケアイノベーション創出に向けて～“自治体等×ベンチャー等”連携による 超高齢社会の地域課題解決～（令和5年4月）」（関東経済産業局）  
([https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iryokiki/healthcare/data/healthcare\\_innov.pdf](https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iryokiki/healthcare/data/healthcare_innov.pdf)) より抜粋

# 厚生労働省のこれまでのスタートアップ支援 医療系ベンチャートータルサポート事業 (MEDISO) について

## 医療系ベンチャー育成支援事業

令和6年度当初予算案 4.4億円 (4.4億円) ※0内は前年度当初予算額

### 1 事業の目的

- ◆ **MEDISO (MEDical Innovation Support Office)** とは、医薬品・医療機器等について、アカデミアやベンチャー企業が有するシーズを実用化につなげるために、研究開発から上市に至るまでの各段階で生じた課題等に総合的な支援を行うための事業。
- ◆ 医療系ベンチャー企業等にアドバイスを行うメンターとなる人材（以下、サポーターと称する）と各ベンチャー企業のニーズに応じたマッチングの推進には、ベンチャー育成のためのエコシステムの確立に向けて大変重要であり、**MEDISO**では、多様な分野の専門家を「サポーター」として登録している。
- ◆ 相談案件は常勤サポーターが精査し、より専門性が高い相談については非常勤サポーターとの面談設定やマッチングを行い、支援計画作成、VC等へのプレゼン資料作成支援等、多様な相談に対してワンストップで支援を実施。
- ◆ さらに、有望なシーズに対しては、知財調査や市場性調査（フィージビリティスタディ）、大企業やアカデミアの人材をベンチャーに派遣するハンズオンマッチング等により、シーズの実用化を見据えた総合的な支援を実施。

### 2 事業の概要・スキーム、実施主体等



### 3 事業実績

相談実施総件数：1100件超  
(2018年2月～2023年7月末)

経済産業省「InnoHub」、PMDA、AMED、医療機器開発支援ネットワーク (MEDIC) 等とも連携

## ヘルスケア産業の発展 医療・介護分野のDX

### データ基盤の提供

## 医療・介護DX

集積された高品質な  
医療・介護データは

- ・バイオ・再生領域
- ・医療機器領域
- ・AI領域
- ・介護テック領域

での新たなイノベーションやベンチャーの成長を後押し



# 本PTが検討の方向性とするもの

---

達成したいこと：

4つの領域（①バイオ・再生医療、②メドテック・医療機器・SaMD領域、③医療DX・AI領域、④介護テック領域）で、  
日本発で世界の社会的課題を解決できるスタートアップ  
を増やす為に、主に政府（+様々なプレイヤーも巻き込んで）ができる  
具体政策を取りまとめる

基本的視点：ヘルスケア分野に特有のスタートアップの課題の抽出

- 医療DXにより共通基盤化が進む巨大ヘルスケアデータの利活用
- 柔軟かつ迅速な規制の見直しによるイノベーション促進
- グローバルなエコシステムとの接合とイコールフットリング

成功要件：

- 本PTの検討施策が政府全体の中の施策に具体政策に反映されることを目指す。
- 議論の過程をWebで公開することで世論を喚起する。

PTの特徴を活かした検討：

- グローバルなバックグラウンドによる知見の反映。
- 国民から広くオープンに御意見を募る。
- 関係省庁（経産省など）と連携した検討。